

科目名・単位数	コミュニケーション技術（選択）	(2)単位	学習レベル	応用
---------	-----------------	---------	-------	----

学習目標

- ① コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ② サービス利用者や利用者の家族、多職種協働におけるコミュニケーション能力などを習得する。
- ③ 介護現場で活用できるコミュニケーション技術を習得する。

学期	学習内容	学習のねらい	提出物
前期 (4月～9月)	4月 ・オリエンテーション	・年間の授業計画と基本的な心構えを準備する。	
	4月 ・介護におけるコミュニケーションの基本	・サービス利用者と介護従事者とが気持ちを通して信頼関係を形成することが大切であることを理解し、個人の尊厳に基づいたコミュニケーションを図る上で必要となる基本的な知識や技術を理解する。	
	5月 ・介護におけるコミュニケーションの役割	・介護従事者は、様々なコミュニケーション障害を抱えているサービス利用者に対して、積極的に意思疎通を図り、代弁者としての役割を果たす等の適切な対応が求められていることを理解する。	・ワークシート
	6月 ・介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	・サービス利用者・家族との関係づくりや家族への支援の技法について、具体的な事例を通して理解する。	
	7月 ・介護場面における介護技術	サービス利用者に関わる際の利用者や家族からの聴き方、感情表現の察し方など介護場面を想定しながらロールプレイし、それぞれの技術を習得する。	・ワークシート
	9月 ・利用者の意欲を引き出す方法	・利用者の意欲低下のサインを理解するとともに、その背景を考えながら利用者の意欲を引き出す方法を習得する。	
10月 ・コミュニケーション障害の理解	・コミュニケーションの阻害要因を情報処理の過程から理解するとともに、生活支援に必要なコミュニケーション障害の評価の仕方を理解する。		
後期 (10月～3月)	11月 ・利用者の特性に応じたコミュニケーション	・サービス利用者の状態や状況に応じた適切なコミュニケーションについて、脳の仕組みや身体機能等と関連づけながら理解する。	
	12月 ・介護におけるチームコミュニケーション	・多職種協働におけるコミュニケーションのあり方やチームにおけるコミュニケーションの重要性について理解する。	・ワークシート
	1月～2月 ・介護における記録の意義と役割	・記録や報告書を作成する意義や、記録の種類や管理の仕方等について理解し、記録による情報の共有や、チームとしての連携の図り方に関する基礎的な知識と技術を習得する。	
	3月 ・会議の種類と運用	・会議はチームとして必要な意思決定を行う場であり、ミーティング、主任会議、ケース会議、サービス担当者会議などそれぞれの会議の持つ意義や目的について理解する。	・ワークシート

評価の観点と方法

観点

- ① コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得することができたか。
- ② サービス利用者や利用者の家族、多職種協働におけるコミュニケーション能力などを習得することができたか。
- ③ 介護現場で活用できるコミュニケーション技術を習得することができたか。

方法

- ① 上にあげた観点を総合的に評価する。

使用教科書・副読本	新・介護福祉士養成講座 5. コミュニケーション技術(中央法規)	
教材・道具等	ワークシート	